

県内図書館紹介

岩手町立図書館

概要

盛岡から北へ30kmに位置する岩手町は、面積360.55km²人口約1万7千人の豊かな自然環境に恵まれた北緯40度の町、彫刻とホッケーの町、文化の薫り高い町です。平成14年12月には東北新幹線盛岡以北の開通にともない、いわて沼宮内駅は県北部の交通網のアクセス拠点として、その重要な役割を担っております。

図書館のはじまり

当館は、昭和28年12月に旧沼宮内町立図書館として創設され、県内町村立図書館の先駆けでした。

しかし、近年の急激な社会情勢の変化、町民の学習ニーズの多様化、施設の老朽化等から新改築を待望する声が増え、平成11年6月に、図書館、公民館、児童館の複合施設として「ゆはず交流館」がオープンしました。

紹介

「ゆはず交流館」に図書館が占める面積は、約1000m²（開架・閲覧590m²）で、蔵書数5万3千点（ビデオ・紙芝居含む）となっております。

また、当館から遠隔の地域で本館を利用できない人には移動図書館「おおぞら号」が22ステーションを2週間に1度巡回しております。

施設が新しくなり、資料の検索もタッチパネルで出来るなど便利になりましたが、対応する職員が少ない（専4名内臨2名）等、課題も山積しています。

このような状況の中、遅滞きながら当館でも今年度からブックスタート事業・ボランティアによる読み聞かせ会、そして、テーマを設けた図書の展示会等、岩手町のオリジナリティの定着化に日々努力しております。



玉山村立図書館

概要

玉山村は盛岡市の北東に隣接し、約400km²の広大な面積に、本州一寒いと言われる岩洞湖があり、村の中央には北上川が流れ、西に岩手山、東に姫神山を望む人口1万4千人余りの自然に恵まれた美しい村です。

また、明治19年にこの村に生まれた石川啄木のふるさとでもあり、啄木文学のルーツとして、多くの啄木ファンが訪れます。

生涯学習の拠点・啄木の故郷として

図書館は、村民の文化・生涯学習の拠点として、平成7年6月に文化会館・中央公民館との併設館としてオープンしました。鉄筋コンクリート造の2階建てで、面積は569m²と余り広くはありませんが、円形のフォルムと全面ガラス張りの窓からの明るい日差しで、明るく親しみのある図書館として親しまれています。

現在の所蔵は約5万6千冊で、2階には石川啄木の故郷ということもあり、啄木関係の資料を集めた「啄木コーナー」を設置し資料収集に努めています。

開館10周年を目前に

玉山村は面積が広く起伏も激しいため、なかなか図書館を利用できない方もいらっしゃいます。当館では、たくさんの方が図書館の図書を利用できるようにと、月にいちど、村内の教育施設に配本を行っています。また、昨年度からはボランティアによる読み聞かせ会を定期的に行っており、地域にあったサービス、新しいサービスを模索しています。

まもなく当館は開館10周年を迎えます。資料の充実はもちろん、インターネット等の新しいメディアの利用も視野に入れて、住民の皆さんが欲しい情報を得ることが出来る、そして何度でも足を運びたい魅力ある図書館を目指します。

